

2019年3月20日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

野村アートアワードの創設について ～現代アートの未来をサポートします～

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、現代アートの世界で挑戦を続けるアーティストを支援するため、このたび、当該アーティストを対象とした表彰制度である野村アートアワード(以下「本アワード」)を創設しました。

本アワードは年に1度、大賞1名とエマージング・アーティスト賞2名を表彰するものです。大賞は、優れた実績を有し、さらなる飛躍が期待されるアーティストに贈られます。これまでの功績を称えとともに、新たな制作活動を支援するため、賞金100万米ドルを贈呈します。エマージング・アーティスト賞は、現代アートの未来を担うことが期待される新進気鋭のアーティストに、今後の活動支援としてそれぞれ10万米ドルを授与します。



当社とアートをつなぐ歴史は、創業者・野村徳七にまでさかのぼります。徳七は茶の湯や能楽に造詣が深く、文化・芸術の支援に力を注ぎました。その想いは今に受け継がれ、このたび現代アートの発展を支援する本アワードの創設に至りました。

アーティストの意欲的な創作活動、アート界でのチャレンジは、変革と挑戦を掲げる当社の理念に通じるものがあります。本アワードを通し、文化・芸術の発展に貢献していきたいと考えています。

受賞者の選考にあたり、世界のアート界を代表する有識者7名が審査員に就任しました。大賞、エマージング・アーティスト賞とも、審査委員会での審議を経て決定します。

(敬称略)

Doryun Chong
(ドリユン・チョン)

M+(エム・プラス)美術館(香港)副館長兼チーフキュレーター

The late Okwui Enwezor (故 オクウィ・エンヴェゾー)	キュレーター、芸術評論家、作家、エディター ハウス・デア・クンスト美術館(ドイツ)前館長 ヴェネツィア・ビエンナーレ(2015年)キュレーター
Kathy Halbreich (キャシー・ハルブライヒ)	ロバート・ラウシェンバーグ財団 エグゼクティブ・ディレクター
長谷川 祐子	東京都現代美術館 参事 東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科 教授
Max Hollein (マックス・ホライン)	メトロポリタン美術館(米国)館長
Nicholas Serota (ニコラス・セロタ)	英国アーツ・カウンシル チェアマン テート美術館(英国)元館長
Allan Schwartzman (アラン・シュワルツマン)	アート・エージェンシー・パートナーズ 創業者兼プリンシパル サザビーズ ファインアート部門チェアマン

本アワードの運営にあたっては、国際的に著名なオークションハウス(競売会社)サザビーズのアドバイザー業務を一手に担う同社100%子会社である米国のアート・エージェンシー・パートナーズ社がアドバイザーを務めています。また、野村不動産ホールディングス株式会社(代表取締役社長兼グループCEO:沓掛英二)と、株式会社野村総合研究所(代表取締役社長:此本臣吾)が、本アワードの趣旨に賛同し、協賛企業として参加しています。

第1回目となる2019年のエマージング・アーティスト賞は、2019年5月に京都で行われる本アワードの創設記念式典で発表します。大賞は、2019年秋に上海で開催を予定しているガラ・イベントにて発表します。

受賞者の紹介やイベントの様子は特設サイトでも紹介していく予定です。

<https://www.nomuraartaward.com/jp/>

以上